



岡山県原水協通信

2009年11月6日 No102
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

「市民と一体となった盛り上がりが必要」 核廃絶署名「皆さんと一緒に考えたい」

高梁市 長懇談

高梁原水協(理事長・三村盛紀氏)は10月16日に高梁市長に提出していた「核兵器廃絶運動の促進に関わる申し入れ」に基づき、11月5日近藤隆則市長と懇談しました。

冒頭、三村理事長は「4月のオバマ発言以来、全世界で核兵器廃絶の大きな流れが起きている。この流れを確かなものにするためにも、いま核廃絶の大きな運動が求められている。非核自治体宣言を行い、市長も賛同いただいている核兵器廃絶の署名に行政として協力いただきたい」と申し入れました。

近藤市長は、「唯一の被爆国として、核のない世界を目指すというのは共通の認識だ。みなさんの活動に敬意を表する。市としても、市民と一体となった盛り上がりが必要だと思う。どのような方法がいいか、皆さんと一緒に考えたい。」と述べられました。

高梁市原水協は行政の協力として例えば 市の広報に掲載していただく。 公的施設で署名コーナーを設置する。 町内会の協力を求める。などを提起しています。

具体的な方法については市の担当窓口と原水協で協議することになりました。また、市長の賛同メッセー



近藤市長(右手前)と懇談する高梁原水協の皆さん 11/5 高梁市役所

ジを広く市民に知らせることも了解いただきました。

この日の申し入れには人権連、新婦人、市職労、共産党、県原水協平井事務局長が参加。市長と川上一夫総務部長が出席されました。

笠岡 市長 議長はじめ 教育長・市民病院長・ロータリークラブ会長 青年会議所会長など賛同ひろがる



署名推進の作戦を協議する笠岡の皆さん(11/4 笠岡市職労書記局)

笠岡市では「核兵器のない世界を」署名をどう進めるかということで市職労、新婦人、民商、医療生協、共産党の代表が参加して協議を進めています。11月4日、4回目の会議を持ちました。この日は市内の著名人の賛同の集約を行い、市長、市議会議長、教育長、市民病院長、漆工芸家、ロータリークラブ会長、青年

会議所会長などから賛同をいただいたことが報告されました。さらに賛同者を広げることを確認し、しっかり準備し、一気に集める作戦で、1月に署名推進実行委員会の結成とスタート集会を開く、署名目標は人口5万の50%をめざすことなどが話し合われました。次回会議は11月17日を予定しています。

NPT参加申込み30人に



2010年NPT再検討会議要請行動参加申込みが、11月5日現在30人になりました。

11月06・9行動しました。

11月6日 昼休み、11月度の6・9行動を行いました。県労会議、自治労連、高教組、民医連、人県連、平和委員会から11人が参加、50分の行動でしたが33筆の署名が寄せられました。

